2020年 東京でのメダルを目標に

４月にカナダのモントリオールで行われたボッチャ・ワールドオープン大会で、羽曳野市に住む中村拓海さんが団体戦に出場し優勝（個人戦は４位）しました。社会人となってからはじめて挑んだ大会で結果を残すことができた拓海さんは『この夏（８月）、イギリスのリバプールで開催される世界選手権で良い成績を残し、2020年の東京につながれば』と話され、パラリンピックで金色に輝くメダルを狙います。

アーバンスポーツ〝BMX〟国際大会出場

©折口裕介

丹比小学校６年生の池田光太さんが、４月に広島で開催された「FISE WORLD SERIES Hiroshima 2018」に出場し、第５位に入賞しました。光太さんが出場したフラットランド（Jr）種目では、平地でアクロバティックな技の難易度や独創性を競います。

日本語学習で国際交流～みやびの集い～

６月17日㈰、国際交流ボランティアサークルみやびが行う日本語教室の第18回国際交流パーティーが市民会館で開催されました。パーティーには、アジア圏を中心に世界各国から来日された方々が集い、日本語教室で勉強している生徒による日本語スピーチや、沖縄三線の演奏など、たいへん楽しい一日になりました。

30年目、悲願の日本一

６月23日㈯、東京体育館で開催された全日本シニア空手道選手権（組手部門）で新極真会南大阪支部の中島匡聡３段（61歳）が優勝されました。“折れない気持ち”を貫き決勝戦へ、「先生や仲間の声がよく聞こえました。自分の実力以上の力が出ました。」と声援を送り続けた皆さんに感謝の言葉を述べられました。

水辺の観察会

７月１日㈰、石川河川敷で緑の少年団と南河内水生生物研究会で水辺の観察会を開催しました。アユやヌマチチブを採集でき、みんなで観察しました。

おいしい水のできるまで　～石川浄水場見学会～

５月末から６月中旬にかけ、石川浄水場の見学会に、小学校４年生の児童（12校・858人）が参加しました。児童らは、水道水ができるまでの過程をビデオやスライドで学び、実際に試薬を入れると水の色が変化する水質実験を体験しました。その後の施設見学では、石川からの取水のしくみやろ過池、最新の紫外線照射装置等を見学。浄水場でできたばかりの水を飲むと「おいしい！」と笑顔いっぱいでした。最後は石川浄水場で作った『羽曳野のおいしい水』をお土産に持って帰ってくれました。

施設見学（予約制）TEL 072-958-1111 内線 5013

安全安心パトロール　見守り活動もうすぐ12年

７月７日㈯、古市小学校で日本財団の助成を受けて購入したパトロール車の出発式が行われました。古市校区青少年健全育成連絡協議会の中川代表は「これからも地域のパトロールを実施することにより、さらなる安全安心な地域づくりを進めていきます。」と抱負をのべられました。

わんぱく相撲大阪大会でナンバーワン！

６月９日㈯、大浜公園相撲場（堺市）で開催された「第23回わんぱく相撲大阪府決勝大会（小学生４年生の部）」にて、はびきの埴生学園４年生の麻田紗妃さんが見事優勝されました。麻田さんは、５月５日に開催された羽曳野青年会議所主催の「第28回わんぱく相撲はびきの場所」で優勝し、今大会の代表として出場。参加者80人の頂点に輝きました。

第44回 羽曳野市ソフトボール連盟会長杯大会結果

４月初旬から５月末にかけ、青少年児童センターなどで同大会が開催されました。結果は下表のとおりです。

	一般男子の部Ｂ級	一般男子の部Ｃ級	小学生の部
優　勝	ベッセルズ	ビッグダディー	高鷲南子ども会連合会
準優勝	北青クラブ	古市荘園	羽曳山子ども会
第３位	球友クラブ 羽曳山タートルズ	クリーンセンター ふくやパイレーツ	

一丸となって行政対象暴力を撃退

7月2日㈪、市役所にて「第12回羽曳野市行政対象暴力対策連絡協議会」を開催し、北川市長、羽曳野警察署長、大阪府警察本部刑事部捜査第四課暴力団対策室長、大阪府暴力追放推進センター専務理事ら警察関係者、大阪弁護士会の対策委員会弁護士と市管理職員など33人が出席しました。暴力団などが、行政やその職員に対して行う不当な行為（行政対象暴力）を予防し、排除するため、市・警察・弁護士会が互いに連携し、一丸となって取り組んでいきます。

NHKラジオ公開収録「民謡をたずねて」

6月29日㈮、LICはびきので市制施行60周年の記念事業として、日本を代表する民謡歌手が集まり、会場を訪れた約450人の来場者へ、民謡の魅力をたっぷりとご紹介くださいました。放送は8/25㈯、9/1㈯、9/8㈯でいずれも12:30～12:55。（ラジオ第1／FM／国際放送）

東日本大震災から7年5カ月・続く交流

7月5日㈭、樽井議長、北川市長と高崎教育長が気仙沼湾に浮かぶ、東北最大の有人離島（島面積9.05k㎡）の大島を訪れ、高鷲中学校から預かった七夕の短冊などを届けました。大島中学校と高鷲中学校は東日本大震災後からずっと交流が続いています。地震発生当時の津波被害などの様子について、観光ボランティアの小野寺しめ子さんは、『津波で流れてきた重油に引火し発生した亀山の火災では、中学生も率先して消火にあたった』と説明してくれました。大島中学校生徒会会長の水上雄介さんは『浜などを見てもらえればまだ復興が進んでいないのがわかります。大島中学校を支援してくださる方々の思いで支えられている。これからも交流を続けてください。』と話しました。

▲ 大島の皆さんと中学校にて

▲ 大島の浸水域ほか

特産はブルーベリー、つばき油など。また、カキ・ホタテ・ワカメなどの養殖も盛ん。2013年12月には埴生南小学校から、島内にある介護施設へ車椅子1台を届けた。

▲ 気仙沼大島大橋（今年度中完成予定）

▲ つぶたん短冊

こんにちはあかちゃん

百花ちゃん（姉）と大志朗ちゃん（兄）と一緒に

一宮 陵士朗（いちみや りょうしろう）ちゃん
平成29年10月30日生まれ
母親の真由美さん撮影
＜高鷲＞
3人仲良く元気に大きくなってね。

小南 祐陽（こみなみ ゆうひ）ちゃん
平成29年4月18日生まれ
＜羽曳が丘＞
母親の由香さん撮影
この笑顔に癒されるよ♪
明るく、心優しい子に育ってね。

姉弟2人仲良く、広い心で優しい男の子になってね！
お姉ちゃんの奈乃羽ちゃんと一緒に

三好 航太郎（みよし こうたろう）ちゃん
平成29年12月6日生まれ
＜野々上＞
母親の順子さん撮影

「こんにちはあかちゃん」に掲載をご希望の方は、①住所 ②赤ちゃんの氏名（ふりがな） ③生年月日 ④コメント ⑤撮影者のお名前と続柄 ⑥電話番号を明記し、⑦画像を添付の上、kouhou@city.habikino.lg.jp までメールをお送りください。メール以外の申込については、お問い合わせください。
<問合せ> 秘書課 広報担当 ☎ 072-958-1111（内線3333・3340）